

教科名〔 理科 〕

科 目 名	単 位 数	学 年 ・ 組	担 当 者 名
化 学	3 単位	3 年 1 組（理系選択）	＊

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	化学に対する総合的理解を深める。 計算問題に対応できる能力を身につける。 実験により科学的な物の見方を養う。
使用教科書・副教材等	第一学習社『高等学校改訂新化学 』『改訂版スクエア最新図説化学』 プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 1 学習活動の特記事項 2 副教材の使用など	考 査 範 囲	評価の観点のポイント				
						態 度	関 心 ・ 意 欲	思 考 ・ 判 断	技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解
第 1 学 期	物質のなりたち 1 物質とその構成要素 2 物質の構成粒子と物質質量	4 ・ 5	物質の構成成分の検出方法、その成分の最小の単位粒子・原子についての理解を深める。 物質を形作る化学結合の種類と、特徴を理解する。 原子・分子などの量の表し方を学び、計算に習熟する。	提出物，出欠，授業に取り組む態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	第 1 学 期 中 間 考 査	○		○	○	○
	物質の変化 1 物質の変化とエネルギー 2 酸・塩基と塩	5 ・ 6 ・ 7	化学変化を反応式として表し、それに伴うエネルギーの出入りを理解する。 酸・塩基の性質が同じ尺度で表されること、中和反応での量的関係を学び理解する。	提出物，出欠，授業に取り組む態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	第 1 学 期 期 末 考 査	○		○	○	○
第 2 学 期	3 酸化還元反応 無機物質 1 非金属元素の単体と化合物 2 金属元素の単体と化合物	8 ・ 9 ・ 10	酸化還元反応の本質を学び、電池や電気分解の理解へと進む。 金属以外の単体と主な化合物について、性質や反応を学習する。 典型元素の金属・主な遷移元素の金属について、単体や化合物の特性と反応を学習する。	提出物，出欠，授業に取り組む態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	第 2 学 期 中 間 考 査	○		○	○	○

	有機化合物 1 有機化合物の特徴と分類 2 脂肪族化合物	10 ・ 11 ・ 12	有機化合物の特性を学び、さらにその化学式の決め方を学習する。 脂肪族化合物の特性や反応について、食酢やセッケンなど生活に関係深い物質を中心に学ぶ。	提出物，出欠，授業に取り組む態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	第2学期期末考査	○	○	○	○
第3学期	3 芳香族化合物	1 ・ 2 ・ 3	芳香族化合物の特性や反応について、脂肪族化合物の比較をしながら学習する。	提出物，出欠，授業に取り組む態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	学年末考査	○	○	○	○
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業中に配布するプリント 実験のレポート 長期休業中の課題 など									
【1・2・3学期における評価方法】 考査評価 宿題 配布プリント等の提出物評価 出欠，授業に取り組む態度の評価									